

## 令和4年度実績報告（ごきげんワークショップ）

### 事業名

ごきげんワークショップ

### 実施団体名

まあるいごえん～親子の笑顔を育み隊～

### 事業の目的

主に妊娠中の方、0～2歳の子どもの育てる親を対象に、「親の学び」を目的とします。

### 事業の概略

○ごきげんワークショップ

5月	あかちゃんといっしょ	5人
6月	おむつ外し、みんなどうしてる？	18人
7月	イヤイヤ期をどう乗り越える？	17人
9月	子育てハッピーセミナー	9人
10月	子どもだった頃の私	3人
11月	子どものスマホ～知っておきたい！子どもの発達と脳への影響～	7人
12月	子育てのイライラとうまくつきあう親になろう	6人
1月	そういえば自分も。子どものいいところ・気になるところ	3人
2月	お父さんがイクメンに変身する魔法の言葉	4人
3月	ごきげん交流会	8人

### 事業の効果・成果

・孤立し、悩みを一人で抱えている保護者が、ワークショップを通じて知り合い、交流する機会を提供することができた。

### 事業を実施して気づいた点

・継続的に参加してくれる方が少ない。  
・集客について、興味のあるような内容の参加者は多いが、それ以外は参加しないことが多い。

### 問題点に関する解決策

・短期間（3か月程度）で、3回講座などにすれば、継続的な参加になるかも。  
・対象者に対し、興味のあるような内容を増やし、告知の仕方もわかりやすく考える。  
・参加者の40%が市の広報、公式lineからだったので、引き続き市の支援をしていただきたい。

自己評価

着目点	自己評価	自己評価コメント
・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	ポスターを市役所や子育て支援センター、児童館などに掲示したり、北名古屋市広報、公式LINE や、乳幼児健診でもチラシを配りました。
・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	北名古屋市公式LINE を見た方や、乳幼児健診でチラシを配った方が来てくださったりと、不特定の方が来てくれるようになりました。
・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	北名古屋市広報や公式LINE に載せてもらったことで、若い子育て世代だけではなく、地域の方に声をかけていただく機会になりました。また、社会福祉協議会のボランティア登録もしました。
・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	適切であったと思います。
・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	見守り託児スタッフをイベントごとに確保しました。
・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	ワークショップは継続的に続けていきたいと思っています。
・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	保健師さん（スマホ依存防止アドバイザー）とつながり、子どものスマホについて専門的な意見を聞くことができた。
・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	補助事業で広報や公式LINE に載せていただき、乳幼児健診でチラシを配ったことで、行政や他団体と連携し認知が広がりました。
・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	もう少しワークショップに気軽に来ていただけるように、打ち出し方を工夫したり、興味のあるテーマと組み合わせたりしていく。
・自己資金の確保に努めていますか	○	初めてマルシェを開催し、出店料として寄付をいただきました。
・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	-	経費削減できるだけの予算もありません。
・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	目標、目的通りの成果が得られました。アンケートから満足の声をいただきました。

## 審査会委員評価

### 事業の良いと思われる点

- ・核家族が増えている中、一人で子育てに悩む母親へのアプローチは非常に良い。
- ・参加者がつながり、支えあうきっかけづくりになったことは評価できる。
- ・必要な知識を必要な人に届けることができた。
- ・ネット情報の取捨が難しい中、対面で相談、相談できたことは良い。

### 事業についてのアドバイス、期待する点

- ・祖父母に対するセミナーも開催してほしい。
- ・認知度を上げるために他団体のイベント・企画と連携してみるのはいかがでしょうか。
- ・いろいろな地域で活動してほしい。
- ・輪が広がることを期待します。
- ・常設場所として、空き家を活用してみてもどうか。
- ・参加者の感想を広報に活かしてみてもは。